

市内の傾向

◆「空き家」窃盗が多発！

空き家は普段人がいないため、泥棒が簡単に侵入してしまいます。室内に残された換金できる家財、室外機や給湯器などの金属部品が盗まれています。価値のある家財を置いたままにしない、雨戸やシャッターを閉める、防犯カメラやセンサーライトなどの防犯機器を活用する、室外機に盗難防止ナットをつけるなどの対策をしましょう。



空き家バンク
ホームページ

空き家の活用をご検討の場合は、空き家バンク制度があります。

◆不審な業者の訪問・電話に注意！

不審な点検業者や不用品買取業者の訪問・電話があったという情報が市消費生活センターに多数寄せられています。不審な業者が犯罪者の可能性もあるため、知らない人は家に入れない、個人情報をお教えしないなどの対策を徹底しましょう。

もしもの時の相談先

■ ひょうご地域安全 SOS キャッチ電話相談 ☎ 078-341-1324

開設日時 月曜日～金曜日 9:00～16:00（祝日、12月29日～1月3日を除く）

兵庫県と兵庫県警察が共同で運営している電話相談窓口です。日常生活の中で不審・不安に思うことについて、どこに相談・通報すべきかわからない時にご利用ください。相談内容に応じて適切な相談窓口につなぎ、事件の未然防止や早期発見を図ります。

■ 警察相談専用窓口 ☎ #9110 または ☎ 078-361-2110

開設日時 月曜日～金曜日 9:00～17:00（祝日、12月29日～1月3日を除く）

兵庫県警察の相談専用窓口です。犯罪に当たるのか分からないこと、犯罪は発生していないけれど不安に思うことなどを警察に相談したい時にご利用ください。相談内容に応じて、捜査や相談者への防犯指導、他の専門機関への引継ぎなどを行います。

■ 南あわじ警察署 ☎ 42-0110

南あわじ警察署では、防犯についての相談を受け付けています。また、市内の最新の犯罪認知件数や、南あわじ警察署からのお知らせをホームページに掲載しています。



南あわじ警察署
ホームページ

特殊詐欺にご注意ください

市内で市役所職員を名乗る還付金詐欺や、警察官を名乗る詐欺が発生しています。

◇ 市役所職員を名乗り「ATMで還付金が受け取れる」は詐欺！

◇ 警察官を名乗り「あなたが犯罪に関わっているため資産を調査する」は詐欺！

家族や周囲の人にも注意喚起をお願いします。

被害に遭わないためには、犯人と接触しないことが重要です。特殊詐欺の電話の多くは「+1」「+44」などの国際電話からかかってきます。携帯電話の場合は電話に出ない、固定電話の場合は国際電話の利用休止をしましょう。手続き方法は市ホームページをご覧ください。



市ホームページ



防犯対策を見直してみませんか

住まいの防犯力を高めよう

図危機管理課 ☎ 43-5203

近年、全国的に住宅への侵入窃盗が増加しており、大きな社会問題となっています。

「ここは田舎だから大丈夫」と思っていませんか？ 市内でも令和6年に9件の被害が発生しており、決して他人事ではありません。自身や家族の安全・財産を守るため、住まいの防犯力を高めましょう。

泥棒に狙われないために



泥棒は犯行前に下見を行うことが多いとされています。泥棒に「この家は侵入しにくい」と思わせることで標的にされる可能性を減らすことができます。

庭に死角や足場を作らない

庭木や庭に置かれた荷物、物置などが泥棒の隠れ場所になり、2階への足場にもなります。庭の荷物は整理整頓し、庭木の手入れをしましょう。

音や光でけん制する

泥棒は人目につくことを嫌うため、センサーライト・防犯アラーム・防犯砂利（音の出る砂利）など、人が家に近づくと音や光が出る対策が効果的です。

防犯カメラを設置する

防犯カメラとともに「防犯カメラ作動中」などの看板を見えやすい位置に設置することで、泥棒に警戒心を抱かせ、犯罪を抑止する効果があります。

泥棒に侵入されないために



泥棒の侵入経路は、無施錠の玄関や窓が約5割、ガラス破りが約3割です。侵入を防ぐため、玄関や窓の対策をしましょう。

常に鍵をかける

住民が在宅していても、泥棒は昼夜を問わず侵入します。在宅中や短時間の外出時にも必ず鍵をかけましょう。長期不在時には鍵に加えて雨戸やシャッターも閉めましょう。

ガラス破り対策をする

防犯ガラスの使用や窓ガラスに防犯フィルムを貼るなど、ガラスが破られないようにしましょう。また、補助鍵をつけることでガラスが破られても窓の開閉を制限できます。

侵入に時間をかけさせる

泥棒は侵入までに5分かかると約7割が諦めるとされています。防犯部品を選ぶときは、侵入に5分耐えうることなどを基準に評価された「防犯建物部品（CPマーク）」を参考にしましょう。

その他の対策

◆訪問者への対策

泥棒が点検業者や不用品買取業者を装い、ドアを開けさせて強盗するケース、住民が目を見ながら盗むケース、室内の下見をして後日窃盗に入るケースなどがあります。知らない人を家に入れてはいけません。応対時も不用意にドアを開けず、インターホンやドアスコープ、ドアチェーンを活用しましょう。

◆電話での対策

泥棒が業者を装い、電話で世帯構成や居住者の年齢、在宅時間を聞き出し、後日窃盗に入るケースや、聞き出された情報が犯罪者間で回り特殊詐欺などの犯罪に悪用されるケースがあります。知らない人に個人情報を渡さないようにしましょう。